

2010年度 在宅医療助成 指定公募（後期）

「ケアマネジャーを対象とした在宅医療の研修」完了報告書

1. 研修会の基本形態

- ・ 岐阜県内各支部（岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨）における県内全域におよぶ支部研修会
- ・ 岐阜県訪問看護ステーション連絡会（各ブロック）との共催による
- ・ 平成23年3月より平成24年3月の間に5支部にて設定し横断的な統一企画として開催
- ・ 同時に各支部独自の形態を取りケアマネジャーを対象とした「在宅医療推進」に係る研修会の開催

2. 対象者

- ・ 介護支援専門員（居宅介護支援事業所・地域包括支援センター職員等）
- ・ 訪問看護従事者（訪問看護ステーション看護師等）
- ・ 訪問介護従事者（訪問介護ヘルパー等）
- ・ その他（行政・介護保険施設職員等）

3. 「統一企画」実施概要 【下記の通り】

平成23年度 岐阜県居宅介護支援事業協議会「支部研修会（統一企画）」実施内容

平成24年2月27日／事務局

① 開催結果 ※ 「居介協支部長および訪看連ブロック長」の間で相談し設定・手配

支部	月/日	会場
岐阜支部	3月10日（土）	テクノプラザ プラザホール
西濃支部	2月25日（土）	岐阜経済大学 6101教室
中濃支部	1月14日（土）	わかくさプラザ 多目的ホール
東濃支部	1月21日（土）	瑞浪市総合文化センター 講堂
飛騨支部	2月 4日（土）	高山市役所 地下ホール

② モデル日程（受付：13：00～13：30）

開始	終了	時間	項目
13：30	13：35	5	開会挨拶・オリテン
13：35	14：05	30	導入講義 「平成24年度介護保険制度改正について」 ～ 制度の方向性と私達の専門性発揮 ～

14:05	14:50	45	事例紹介 (ケアマネジャーの立場よりAさんとの関わり)
			事例紹介 (訪問看護師の立場よりAさんとの関わり)
			事例紹介 (ヘルパーの立場よりAさんとの関わり)
14:50	15:00	10	休憩
15:00	15:10	10	演習の導入 (ねらい・役割分担他)
15:10	15:15	5	個人ワーク
15:15	15:45	30	グループワーク
15:45	16:10	25	全体会・まとめ 「介護羅針盤」～生活リズムのある介護プラン作成 支援ソフト～紹介
16:10			閉会

③ 当日役割分担「居介協支部長および訪看連ブロック長」の間で相談し設定・手配

	岐 阜	西 濃	中 濃	東 濃	飛 騨
受付・司会	各支部・ブロックで設定				
開会挨拶	各支部長またはブロック長				
導入講義	山田	立木	立木	立木	立木
事例紹介 (CM)	メディカル 瑞穂 安田	メディカル 長崎	メディカル 高山 中丸	メディカル 瑞穂 安田	メディカル 高山 中丸
事例紹介 (訪看)	サンビレッ ジ 滝本	しずさと訪 看護 正岡	メディカル 高山 松田	サンビレッ ジ 滝本	メディカル 高山 松田
事例紹介 (ヘルパー)	メディカル 瑞穂 水田	メディカル 大垣 草野	メディカル 高山 小林	メディカル 瑞穂 水田	メディカル 高山 小林
演習の進行	山田	山田	荒木	荒木	立木
ソフト説明	藤井	藤井	藤井	藤井	メディカル 大垣 長崎
まとめコ メント	演習進行者 (事例紹介者の感想含む)				

④ 事務分担 ※「居介協支部長および訪看連ブロック長」の間で相談し対応

居介協各支部	日程・会場設定、会場手続き、案内文書印刷・発送、参加申込手続
--------	--------------------------------

訪看連各ブロック	き一式、配布資料準備、タックシール作成（訪看連）、諸費用対応
居介協事務局	全体の調整、モデル要項作成、タックシール作成（個人会員・ヘルパー事業所）、「ニュースレター」にてPR

⑤ 対象事業所等

	① 居介協個人 会員	② 訪看連	③ 訪問介護事 業所	計(①+②+③)
岐 阜	3 2 1	1 9	1 2 4	4 6 4
西 濃	2 0 6	2 0 (A 1 4 + B 6)	5 3	2 7 9
中 濃	1 8 4	1 4 (A 6 + B 8)	5 0	2 4 8
東 濃	1 6 3	1 3	5 4	2 3 0
飛 騨	7 8	1 0	2 7	1 1 5
合 計	9 5 2	7 6	3 0 8	1, 3 3 6

4. 実施報告 【主として統一企画を抜粋 下記の通り】

【岐阜支部】

研 修 内 容	日 時	場 所
第1回 岐阜支部研修会 「対人援助職のメンタルヘルス」 ～職場のメンタルヘルスをめぐって～ 講師：日本福祉大学 臨床心理士 若 山 隆 氏 参加人数 53人	12月22日 14時～ 15時30分	県民ふれあい 会館302号

<p>第2回 岐阜支部研修会「支部統一研修」 ケアマネジメントの専門性と訪問看護・訪問介護サービス ～利用者の自立支援に際して 訪問看護・訪問介護の意義と効果～</p> <p>導入講義「平成24年度介護保険制度改正について」～制度の方向性と私達の専門性発揮～ 岐阜県居宅介護支援事業協議会 理事 山田 典孝 氏</p> <p>実践発表 新生メディカル瑞穂 安田美佐子氏（ケアマネジャー） 新生会カトリック 新生苑 滝本道子氏（訪問看護） 新生メディカル瑞穂 水田和美氏（訪問介護）</p> <p>全体会 「介護羅針盤」～生活リズムのある介護プラン 作成支援ソフト～紹介</p>	<p>3月10日 13時30分 ～16時30分</p>	<p>テクノプラザ プラザホール</p>
---	---------------------------------------	---------------------------

【西濃支部】

<p>○ 平成23年度 第1回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 西濃支部研修会</p>
<p>1. 日 時 : 平成23年10月12日(水) 13:30～16:10 2. 場 所 : 大垣市情報工房 5階 スイックホール 3. ね ら い : 担当者会議をはじめ 様々な場面における事業所間のコミュニケーション術を学び 日頃の業務に活用し利用者によりよい日常生活の支援が出来ることを目指す。 4. 主な内容 : 講義「関係機関との良好なコミュニケーションの構築」 【講師：特別養護老人ホーム サンライフ彦坂 業務長 安達 智紀 氏】 個人ワーク・グループワーク 演習指導 安達 智紀 氏 5. 参加人数 : 88人</p>

<p>○ 平成23年度 第2回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 統一企画 西濃支部研修会</p>

1. 日 時 : 平成24年2月25日(土) 13:30~16:15
2. 場 所 : 岐阜経済大学 6101 教室
3. ね ら い : 訪問看護・訪問介護の効果的活用にかかる実践的学習
4. 主な内容 : 導入講義① 「平成24年度介護保険制度改正について」
【講師：会長 立木孝幸 氏】
 事例発表
 <自宅で最期を過ごす選択をした利用者・家族から
 専門職の連携について考える>
**【新生メディカルケアマネジメントセンター 介護支援専門員
 長崎啓子 氏】**
【しずさと訪問看護ステーション 看護師 正岡真弓 氏】
**【新生メディカル大垣南営業所 サービス提供責任者
 草野みか 氏】**
 個人・グループワーク 演習指導 中濃支部長 山田 典孝 氏
 まとめの全体会
 「介護・ラ針盤」紹介 新生メディカル 藤井尚子
5. 参加人数 : 95人(居宅57・訪問看護12・訪問介護26)

【中濃支部】

○ 平成23年度 第1回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 中濃支部研修会

1. 日 時 : 平成23年6月24日(金) 13:30~16:10
2. 場 所 : わかくさプラザ 多目的ホール
3. ね ら い : 担当者会議をはじめ 様々な場面における事業所間のコミュニケーション術を学び 日頃の業務に活用し利用者によりよい日常生活の支援が出来ることを目指す。
4. 主な内容 : 講義「関係機関との良好なコミュニケーションの構築」
**【講師：特別養護老人ホーム サンライフ彦坂
 業務長 安達 智紀 氏】**
 個人ワーク・グループワーク 演習指導 安達 智紀 氏
5. 参加人数 : 98人

○ 平成23年度 第2回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 統一企画 中濃支部研修会

1. 日 時 : 平成24年1月14日(土) 13:30~16:15
2. 場 所 : わかくさプラザ 多目的ホール
3. ね ら い : 訪問看護・訪問介護の効果的活用にかかる実践的学習
4. 主な内容 : 導入講義① 「平成24年度介護保険制度改正について」

【講師:会長 立木孝幸 氏】

事例発表

＜自宅以最期を過ごす選択をした利用者・家族から
専門職の連携について考える＞

【新生メディカル高山営業所 介護支援専門員 中丸幸枝 氏】

【訪問看護ステーション 看護師 松田恭子 氏】

【新生メディカル高山営業所 サービス提供責任者

草場里絵 氏】

個人・グループワーク 演習指導 岐阜支部長 荒木 篤 氏

まとめの全体会

「介護・ラ針盤」紹介 新生メディカル 藤井尚子

5. 参加人数 : 92人(居宅50・訪問看護5・訪問介護37)

【東濃支部】

○ 平成23年度 第1回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 東濃支部研修会

1. 日 時 : 平成23年9月15日(木) 13:30~16:15
2. 場 所 : 瑞浪市土岐町7267-4 瑞浪市総合文化センター講堂
3. ね ら い : 業者間でのコミュニケーションを円滑にし、スムーズにサービス提供ができることを考える
4. 主な内容 : 講義「関係機関との良好なコミュニケーションの構築」

講師:特別養護老人ホーム サンライフ彦坂

業務長 安達智紀 氏

講評・その他

岐阜県居宅介護支援事業協議会 会長 立木 孝幸 氏

5. 参加人数 : 76人(居宅60人・訪問看護4人・訪問介護12人)

○ 平成23年度第2回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 統一企画 東濃支部研修会

1. 日 時 : 平成24年1月21日(土) 13:30~16:15
2. 場 所 : 瑞浪市土岐町7267-4 瑞浪市総合文化センター講堂
3. ね ら い : 平成24年度介護保険制度改正に向けて
 ~ 訪問看護・訪問介護の意義と効果を考える ~
4. 主な内容 : **【導入講義】**「平成24年度介護保険制度について」
 ~制度の方向性と私たちの専門性発揮~
 講師: 岐阜県居宅介護支援事業協議会 会長 立木 孝幸氏
【研修1.】事例発表 「Oさんとの関わりについて」
 介護支援専門員 (株) 新生メディカル瑞穂 安田美佐子氏
 訪問看護師 (社福) 新生会サンビレッジ新生苑 滝本道子氏
 訪問介護ヘルパー (株) 新生メディカル瑞穂 水田和美氏
【研修2.】演習
 講師: 笠松町地域包括支援センター センター長 荒木篤氏
 ① 演習の導入 (ねらい・役割り分担)
 ② 個人ワーク
 ③ グループワーク
 ④ 全体会・まとめ
【研修3.】ソフトの紹介
 講師: (株) 新生メディカル 所長 藤井 尚子氏
【閉会・事務連絡】
5. 参加人数 : 92人 (居宅57人・訪問看護8人・訪問介護27人)

【飛驒支部】

第1回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 飛驒支部研修会

◇日時・・・平成23年10月12日(水曜日) 13時30分~16時

◇場所・・・高山グリーンホテル 鳳凰の間

◆第1部 講演会 講師 臼井 潤一郎氏

テーマ 『メンタルヘルス・ストレスケア』

◆第2部 交流会

◆立木会長居介協の事業など紹介

■参加 : 49人

第2回 岐阜県居宅介護支援事業協議会 統一企画 飛驒支部研修会

◇日時・・・平成24年2月4日(土曜日)	13時30分～16時15分
◇場所・・・高山市役所 地下ホール	
◆導入講義	～制度の方向性と私達の専門性発揮～
講師	岐阜県居宅介護支援事業協議会長 立木孝幸 氏
◆研修1. 事例発表	
介護支援専門員	新生メディカル高山営業所 中丸 幸枝 氏
訪問介護ヘルパー	〃 草場 里絵 氏
訪問看護看護師	新生メディカル訪問看護ステーション 川上 亜希子 氏
◆研修2. 演習	
◆ソフトの紹介「介護のら針盤」～生活リズムのある介護プラン作成支援ソフト～	
講師	(株)新生メディカル大垣 長崎 啓子 氏
■参加	ケアマネ51人 訪問介護17人 訪問看護22人 計90人

5. 研修会当日の配布資料等

各支部における統一的な企画による同一内容のた一部の抜粋(代表例)を添付資料とする

6. 全体を通じた評価等

① 在宅医療の推進・適切なケアマネジメントへの改善

- ・ 介護保険制度の方向(医療保険と介護保険の融合)についての政策動向を学習する場となった
- ・ 今後更に求められる在宅療養を継続すべく医療との連携・多職種協働の必要性を深める機会となった
- ・ ケアマネジャー・訪問看護師・ヘルパーについてお互いの役割分担と業務意義を確認することができた
- ・ 共通事例を通じた活動発表により相互の連携方法について具体的なイメージを持つことができた
- ・ 職種を超えた地域での率直なコミュニケーションを通じ人間関係・信頼関係づくりに活用することができた
- ・ 家族からの施設入所希望中心から在宅での自立した生活へのビジョンを持つことに繋がった
- ・ レスバイトケア(デイサービス・ショートステイ等)も活用しつつ訪問系サービスの効果発揮が認識できた
- ・ 利用者の十分なアセスメントを踏まえ、多職種の協働によりケアマネジメントを徹底する意義が認識できた

② 「研修継続による成果のエンドポイント」からの評価

- ・ ケアマネジャーが基礎資格を問わず在宅療養に不可欠な医療的知識習得のきっかけとするには今後も継続した取り組みを要する
- ・ 各地域における訪問看護の普及・推進を図り地域医療の体制を強化するには今後も継続した課題を残した
- ・ チームケアを構成する専門職同士が連携し易い人間関係を作る機会とするには「顔が解る人間関係づくり」に寄与した
- ・ 在宅医療の推進により、医療依存度の高い要介護者・ターミナルケアを含む援助を拡大するには事例検討が有効であった
- ・ 在宅医療を推進すべく、地域包括ケアマネジメントを軸にした利用者中心の連携を深める取り組みは今後も強化していきたい

7. 研修会を終えた申請者としての感想

- ・ 今後在宅医療の推進については各地域の特性に応じた担当者間の連携が不可欠となる。一方で専門職種間の相互理解は十分に意思疎通されているとは言い難い中で今年度の研修会はその第一歩を踏み出したと思う。
- ・ 岐阜県において今後も継続して丁寧な研修会を重ね着実な在宅医療の推進を目指していきたい。

「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による」